

(単位：千円)

区 分	既定予算額	補正額	補正後の額
一般会計	3,852,877	54,511	3,907,388
国民健康保険特別会計	581,139	6,117	587,256
介護保険特別会計	363,548	1,987	365,535
下水道事業特別会計	234,700	2,520	237,220
水道事業会計 (収益収支)	114,456	3,500	117,956

補正予算

▼平成23年度一般会計及び各会計補正予算は次のとおり議決しました。

《質疑の内容》

■一般会計

Q 東海林議員

本年10月末までの受付をもって終了する住宅環境整備事業補助金については大変需要（H22 28件、H23 9月時点申請件数34件）が多く、定住対策・経済効果という点からも効果的であり、期間を延長すべきと考えるが。

A 関町長

町づくり委員会に属する業者さんからは成果も非常に良く、経済効果も良い結果がでていると聞いているが、一方で業者さんの手が回らないというところも聞いており、それらの状況を勘案して再度要望に応えようと思っ

Q 山内議員

管内7町村の広域電算協議会関係について、3月定例会において事業の進捗状況等が不透明であることから説明の場を設けるということであったが、何の説明もないまま今回1300万円増の補正が計上されているのはどういうことか。

A 杉本企画室長

今回の補正は管内7町村のデータ処理を統一化するためのデータ変換業務委託であるが、事前に説明を行わなかったことは不手際であり、お詫び申し上げます。早期に説明の場を設けたい。

表彰

▼小平町表彰条例に基づく表彰者の決定

・自治功労Ⅱ横濱 磨氏

同意

▼次の者の任命（選任）に同意しました。

・教育委員会委員

小平町字白谷 佐々木 公子
昭和32年4月19日生

・固定資産審査評価委員会委員

小平町字小平町 斉藤 展正
昭和21年3月1日生

その他

▼小平町過疎地域自立促進市町村計画の変更

米の貯蔵施設等のハード事業に加え、新たに過疎債の対象となる商工振興事業補助、各産業に対する利子補給事業などのソフト事業を計画に追加するものです。

《質疑の内容》

Q 山内議員

ソフト事業は、今現在の受益者が恩恵を受けるものであって、いくら過疎債とは言え、将来（子供たち）に負担を残すものではないと考える。事業をもっと選別すべきではないのか。

A 関町長

次の世代に借金を残さないというのが原則であるが、条件の良い制度を活用して魅力ある町づくりに進めることも重要。できる限り次世代に負担を残さないように努める。

報告

▼小平町の国民の保護に関する計画変更

防災のために締結されていた北海道及び市町村間の応援協定を国民保護にも運用できるように変更したほか、国の指針に基づき所要の改正を行ったことについて報告を受けました。

▼財政の健全化判断比率等の報告

平成22年度決算に基づき、実質公債費比率（17.9%）、将来負担比率（89.3%）など、いずれも健全化判断基準の範囲内であることの報告を受けました。

専決処分の承認

▼小平町町税条例の一部改正

地方税法の改正に伴い、寄付金税額控除の見直しや不申告に対する行政罰上限額を引き上げるなどの改正を行いました。

意見書

▼森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

▼住民の安全・安心なくらしを支える交通運輸行政の充実を求める意見書
・採択された意見書は各関係閣僚へ送付されることとなりました。